

## 目次

1. 用語の定義
2. はじめに
  - 1) 業界の現状と問題点
  - 2) 適用範囲
  - 3) 注意事項
3. 維持管理
  - 1) 維持管理体制等
  - 2) 維持管理基準の作成
  - 3) 部材別点検項目例
  - 4) メーカー提供による点検マニュアル例

## 1. 用語の定義

- 1) 仮設ステージ  
ホール／アリーナ／ドーム施設内に設営される屋内仮設設営ステージと、スタジアム／屋外イベント会場に設営される屋外仮設設営ステージのことを指す。現状では構造材には建築足場部材を用いたものが多く使われている。
- 2) 維持管理  
仮設材として繰り返し使用される部材の安全性を保つ為に行う管理活動を指す。具体的には通常使用による異常、また経年による劣化等を排除することを目的とする。
- 3) 床組  
足場部材等により構成されたステージ構造部材上に設置され、アーティスト／パフォーマー等の荷重を支える構造を指す。一般的には木製平台、鋼製平台が床組として利用されている。
- 4) 足場部材  
建築物における作業足場として使用される部材を指す。エンターテインメント業界ではその施工性を理由に、ステージ用構造材や装飾物支持架台の構造材として広く利用されている。
- 5) リギング  
エンターテインメント空間に照明、音響その他演出に用いる機材等の懸垂物の吊り上げ行為を指す。
- 6) ホイスト  
一般にリギング機材のうち、吊荷を吊り上げる小型の電動機械を指す。
- 7) トラス梁  
構造部材として用いられる、主に鋼製／アルミニウム合金製の管材で構成された部材で、トラス構造の梁を指す。
- 8) 接合部材  
主にトラスビーム同士を接合する為の鋼製ボルト／スピゴット／ピン等を指す。
- 9) 緊張具  
緊張力をかけて、ワイヤー等を引き込む器具をいう。主としてチルホール／レバーブロック／チェーンブロック等のことを指す。
- 10) 安全設備・装備  
作業時に身体の安全保護を目的とした設備・装備をいう。高所への昇降作業時に必要なワイヤー梯子、安全ブロック、ヘルメット等を指す。
- 11) 使用許容範囲  
部材／機材が安全に使用できる荷重の範囲を指す。基本的に部材の設計者／製造者が定める。

- 1 2) 点検マニュアル  
維持管理を行う上で必要な点検作業の要点をまとめたものを指す。
- 1 3) 点検記録  
点検マニュアルに沿って行う点検項目及び点検結果を記載した記録を指す。
- 1 4) 施工業者  
部材を保有し、営利活動として仮設部材提供サービスを行うものを指す。
- 1 5) 製造業者  
部材を製造し、製造品をユーザーに対して提供するものを指す。

## 2. はじめに

### 1) 業界の現状と問題点

イベントでは、供用される期間が長くても1週間程度と短く、また、設営に充てられる予算も限られているということもあって、イベントに使用される機材部材は簡単な構造のもの、繰り返し使用できるものが多く使用されている。コンサート等においては、設営物が高度またその構造が複雑な案件も多く見受けられ、施工業者としては当然のことであるが、荷重を支持する構造物の重要性が再認識されている気運にある。さらに、エンターテインメント業界における仮設ステージ設營業務においては、その設営に与えられた時間が極端に少なく、設営現場での部材検収作業が手薄になりがちである。故に部材を現場に搬入して使用する以前の品質管理が非常に重要であり、必須であることは言うまでもない。設営部材の安全確保の土台ともいえるべき品質管理は、無論納入各社の責任であり、方法は様々であるが、一方で、下記のような問題を抱えたケースが存在するのも事実である。

- (1) 保管倉庫において品質管理を行うに必要な人員が不足しており、品質確認されない部材が設営現場に搬入され使用されている。
- (2) 設営現場で使用された部材が保管倉庫に戻されることなく次の設営現場に移送され使用されている。
- (3) 機材の品質管理に関する一定のルールを定めない状態で事業を行っている。

以上の例を考えると、事故防止策としての管理が実行されているとはいえない状況にあるのではないだろうか。

2011年夏シーズンに海外において連続して発生した、暴風雨による自然災害により複数のステージ構造が倒壊したことは記憶に新しい。それぞれの災害事故に関する詳細の原因は発表されていないが、事故を防ぐ方法はあったはずである。機材の維持管理は事故防止策の一つとして捉えると非常に重要度の高い行動として位置付けるべきと考えられる。海外での事故例は

決して対岸の火事として安易に受け流してはいけないのである。

長年イベント業界では、仮設設営物の安全を軽視するような風潮があり、その為仮設設営物施工業者自身はその立場・責任性に対する認識が希薄になっている状況がそこにはあるのではなかろうか。

日本舞台安全技術協会はこの現状と問題を鑑み、本ガイドラインにおいて、繰り返しされる使用部材の品質管理に必要な要素を抽出している。本書を加盟各社のそれぞれの品質管理行動に役立てて頂き、仮設設営物施工業者としての安全確保を継続できる環境の構築をお願いしたい次第である。

## 2) 適用範囲

本基準は、コンサート／イベント等のエンターテイメント空間における仮設営物を構成する部材のうち、荷重支持を目的として用いられる構造部材を適用範囲としている。

## 3) 注意事項

仮設ステージ構成部材を扱う業者は、自社の保有する部材を起因とする事故その他事象による損害に対し、大小に関わらず責任が発生することを念頭に置いて業務を行うよう留意する。

本基準は、日本舞台安全技術協会の構成各社に対して安全に関する意識の向上を目的として具体例を挙げて示したものである。

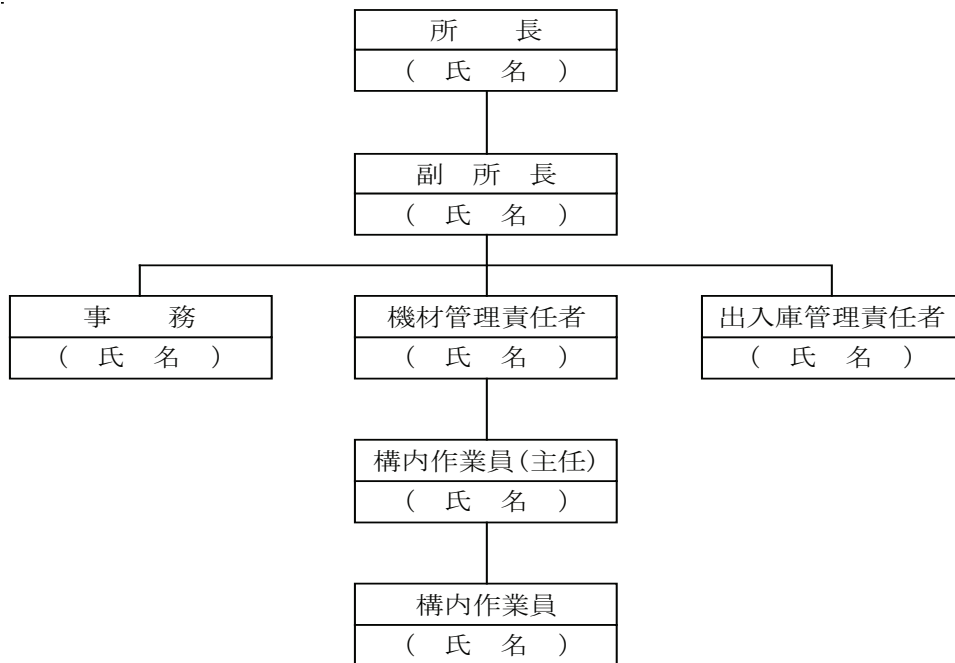
### 3. 維持管理

#### 1) 維持管理体制等

維持管理を円滑且つ確実に行う為には、管理体制を明確にしておく必要がある。

(1) 管理組織図を作成すること。

管理組織図を作成し、組織を構成する全員の責任と権限を明確にする。



(図一 1) 管理組織図 (例)

(表-1) 組織を構成する者の責任と権限 (例)

名 称	名 前	責任／権限
所 長	(名 前)	業務全てに関する管理監督
副 所 長	(名 前)	所長の補佐
機材管理責任者	(名 前)	製品管理／検査／整備 不良品・廃棄品管理 検査用具の管理 等に関わる責任と権限
出入庫管理責任者	(名 前)	出入庫検収管理 整理整頓、結束、雨避けシート養生等 に関わる責任と権限
構内作業員(主任)	(名 前)	機材管理者の指示に従った品質管理 作業・定められた手順に沿った作業、 管理者への報告等各種業務
構内作業員	(名 前)	上記同様作業
事務	(名 前)	管理記録の保管、整理

組織図があっても個々の担当者の管理責任と権限が明確に示されていないと、実際の行動が伴わない可能性もある。密なミーティングを通じてお互いの責任行動範囲を認識し合うことが重要となる。

#### (2) 管理規程、基準、マニュアルの整備

複数人間が集って共に共同体として働く時、そこで働くスタッフが快適且つ確実に業務を行う為には一定のルール作りが必要となる。さもなくば特定人間がいないと合否判断ができないばかりか、時により判断がぶれる可能性もある。

そこで、品質管理規程や基準、作業マニュアル等を文書化しておく必要がある。



## 2) 維持管理基準の作成

部材毎に製造者の責任において基準を設け、品質維持管理に努める。  
品質維持管理を行う上で最も重要となるのが点検作業である。

### ・点検時期

点検行為は以下の各段階において行い、不具合箇所の抽出をすることが望ましい。

①	出庫前・入庫時
	保管場所から現場へ移送しようとする際、及び施工現場から保管場所へ返却された際に行う点検
②	定期点検（年次点検）
	1年を目処に定期的に行う点検
③	屋外等過酷な環境で使用した後の点検
	風雨に曝された後に保管場所に返却された際に行う点検

### ・点検レベル

点検の内容は、点検しようとするものによって異なる。また、点検レベル分けすることにより、確実に不具合部位発見をすることが重要である。

A	ユーザーによる目視点検
B	ユーザーによる曲がり等寸法点検
C	製造者による点検
D	抽出による荷重試験
E	屋外使用の特殊性に対応する点検
F	耐用年数の確認

### 3) 部材別点検項目例

以下に部材別点検項目例を挙げる。

a グループ 床組				
グループ／機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
a-1	鋼製平台	A	A/B/C/D	A/B/C/D/ E/F
a-2	アルミニウム製平台			
a-3	木製平台			
a-4	スロープ			
a-5	手摺			

#### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・合板の腐食／割れは無いかな。
- ・合板－構造材（根太）との接合に問題は無いかな。
- ・構造部（根太）に腐食／割れは無いかな。
- ・（鋼材／アルミニウム材の場合）溶接部にクラックは無いかな。
- ・（木材の場合）部材接合部及び接合用釘に異常はないかな。
- ・ひずみによりレベルが合わない→レベルギャップ〇〇mm以上廃棄する。  
(目視により異常の疑いが認められた場合には、その個体に対して行う。)

#### 点検レベルB ユーザーによる曲がり等寸法点検

- ・定期点検時は部材群より1%以上の材料を抽出し、点検する。

### 点検レベルC 製造者による点検

・異常が認められ、使用許容範囲が不明なものに関しては製造者に各種点検を依頼する。

### 点検レベルD 抽出による荷重試験

- ・同じ部材グループより1%以上の材料を抽出し、荷重載荷試験を行う。
- ・荷重載荷方法を検討し、設計荷重と同等の負荷への耐力を有することを確認し、荷重値と変位量を計測し、使用荷重に対して安全使用状態であることを確認する。確認方法は事前に定めておく。

### 点検レベルE 屋外使用の特殊性に対応する点検

- ・屋外で使用する部材が出庫時に記録・把握出来ているか。
- ・過度の湿気が完全に除去されているか。
- ・湿気による金属部分への異常が無いか。
- ・湿気による木部分への異常が無いか。
- ・砂塵等、汚れがクリーニング出来ているか。

### 点検レベルF 耐用年数の確認

- ・耐用年数の定められているものは、製品の耐用年数の期間内で使用しているか。

b グループ 足場部材				
グループ／機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
b-1	くさび緊結式足場－たてじ材	A	A/B/C/D	-
b-2	くさび緊結式足場－ぬの材			
b-3	くさび緊結式足場－ブレース材			
b-4	くさび緊結式足場－たてじ接合ピン			
b-5	杵組足場－鋼製杵材			
b-6	杵組足場－ブレース材			
b-7	杵組足場－接合ピン			
b-8	杵組足場－接合アーム			
b-9	ジャッキベース			
b-10	鋼製足場板			
b-11	アルミニウム製足場板			
b-12	単管			
b-13	階段			

### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・ 曲がり、ねじれ、変形はないか。
- ・ ピン等の脱落はないか。
- ・ 発錆、腐食はないか。
- ・ 必要部材の紛失はないか。
- ・ 溶接部にクラック等の異常はないか。

### 点検レベルB ユーザーによる曲がり等寸法点検

- ・定期点検は部材群より1%以上の材料を抽出する。

### 点検レベルC 製造者による点検

- ・異常が認められ、使用許容範囲が不明なものに関しては製造者に各種点検を依頼する。

### 点検レベルD 抽出による荷重試験

- ・同じ部材グループより1%以上の材料を抽出し、荷重載荷試験を行う。
- ・荷重載荷方法を検討し、設計荷重と同等の負荷への耐力を有することを確認し、荷重値と変位量を計測し、使用荷重に対して安全使用状態であることを確認する。確認方法は事前に定めておく。

cグループ リギング (機材)				
グループ/機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
c-1	トラスビーム	A	A/B/C/D	A/B/C/D/ E/F
c-2	Iビーム			

### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・トラス、Iビーム本体に曲がり、ねじれ、変形はないか。
- ・トラス主材、ラチスに曲がり、傷、へこみはないか。
- ・フランジ部分に曲がり、傷、へこみはないか。
- ・溶接部にクラック等の異常はないか。
- ・発錆、腐食はないか。

### 点検レベルB ユーザーによる曲がり等寸法点検

- ・定期点検は部材群より1%以上の材料を抽出する。。

### 点検レベルC 製造者による点検

- ・異常が認められ、使用許容範囲が不明なものに関しては製造者に各種点検を依頼する。

### 点検レベルD 抽出による荷重試験

- ・同じ部材グループより1%以上の材料を抽出し、荷重載荷試験を行う。
- ・荷重載荷方法を検討し、設計荷重と同等の負荷への耐力を有することを確認し、荷重値と変位量を計測し、使用荷重に対して安全使用状態であることを確認する。確認方法は事前に定めておく。

### 点検レベルE 屋外使用の特殊性に対応する点検

- ・屋外で使用する部材が出庫時に記録・把握出来ているか。
- ・過度の湿気が完全に除去されているか。
- ・湿気による金属部分への異常が無いか。
- ・砂塵等、汚れがクリーニング出来ているか。

### 点検レベルF 耐用年数の確認

- ・耐用年数の定められているものは、製品の耐用年数の期間内で使用しているか。

dグループ ホイスト				
グループ／機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
d-1	ホイスト	A	A/B/C/D	A/B/C/D/E/F

#### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・別途定める日常点検項目に従って点検を行う。

#### 点検レベルB ユーザーによる曲がり等寸法点検

- ・別途定める定期点検項目に従って点検を行う。

#### 点検レベルC 製造者による点検

- ・異常が認められ、使用許容範囲が不明なものに関しては製造者に各種点検を依頼する。

#### 点検レベルD 抽出による荷重試験

- ・荷重載荷方法を検討し、設計荷重と同等の負荷への耐力を有することを確認する。



### 点検レベルE 屋外使用の特殊性に対応する点検

- ・屋外で使用する部材が出庫時に記録・把握出来ているか。
- ・過度の湿気が完全に除去されているか。
- ・湿気による金属部分への異常が無いか。
- ・湿気による電気系統への異常が無いか。
- ・砂塵等、汚れがクリーニング出来ているか。
- ・水濡れ後の各部への注油はできているか。

### 点検レベルF 耐用年数の確認

- ・耐用年数の定められているものは、製品の耐用年数の期間内で使用しているか。

eグループ 接合部材				
グループ／機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
e-1	ボルト	A	-	-
e-2	スピゴットピン			
e-3	クランプ			

### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・ボルト、ナット、ピンに曲がり、ねじれ、変形はないか。
- ・ボルト、ナットにねじ山のつぶれはないか。
- ・スピゴットの孔に変形はないか。
- ・カムロックに曲がり、傷、へこみはないか。
- ・クランプに曲がり、傷、へこみはないか。
- ・クランプのボルト、ナットに曲がり、ねじ山のつぶれはないか。

ボルト、ナット、クランプについては点検レベルAにて異常がある場合は速やかに使用可能なものと分別し、廃棄処分を行う。

fグループ リギング (副資材)		点検レベル		
グループ/機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
f-1	ナイロンスリング	A	A/B/C/D	A/B/C/D/ E/F
f-2	ワイヤースリング			
f-3	シャックル			
f-4	ワイヤーロープ			
f-5	ザイル			
f-6	O-リング			

#### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・スリング類、ザイルに切れ目はないか。
- ・スリング類、ザイルに溶解はないか。
- ・ナイロンスリングの芯糸に硬いしこりはないか。
- ・ワイヤースリングの芯糸に断線、キンクはないか。
- ・シャックルに曲がり、ねじれ、変形はないか。
- ・シャックルピンに曲がり、ねじれ、変形はないか。
- ・シャックル本体及びピンのねじ山のつぶれはないか。
- ・ワイヤーロープの形くずれ、磨耗、腐食、断線、キンクはないか。
- ・ワイヤーロープのうねり、つぶれ、曲がり、傷はないか。
- ・アイ加工部の繊維芯のはみ出しはないか。
- ・アイ加工部の編みこみ部のゆるみ、抜け出しはないか。
- ・アイ加工部の圧縮止め部の、抜け出しはないか。
- ・アイ加工部のスリーブの変形、磨耗、亀裂はないか。

### 点検レベルB ユーザーによる曲がり等寸法点検

- ・ワイヤーロープ径の計測を行い、公称径を卓越していることを確認する。

### 点検レベルC 製造者による点検

- ・異常が認められ、使用許容範囲が不明なものに関しては製造者に各種点検を依頼するか、速やかに使用可能なものと分別し、廃棄処分を行う。

### 点検レベルD 抽出による荷重試験

- ・同じ部材グループより1%以上の材料を抽出し、荷重载荷試験を行う。

### 点検レベルE 屋外使用の特殊性に対応する点検

- ・荷重载荷方法を検討し、設計荷重と同等の負荷への耐力を有することを確認し、荷重値と変位量を計測し、使用荷重に対して安全使用状態であることを確認する。確認方法は事前に定めておく。

- ・屋外で使用する部材が出庫時に記録・把握出来ているか。
- ・過度の湿気が完全に除去されているか。
- ・湿気による金属部分への異常が無いか。
- ・砂塵等、汚れがクリーニング出来ているか。
- ・水濡れ後の各部への注油はできているか。

### 点検レベルF 耐用年数の確認

- ・耐用年数の定められているものは、製品の耐用年数の期間内で使用しているか。

gグループ 緊張具				
グループ／機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
g-1	チルホール	A	A/B/C/D	A/B/C/D/ E/F
g-2	チェンブロック			
g-3	レバーブロック			

#### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・本体に曲がり、ねじれ、変形はないか。
- ・フックに曲がり、ねじれ、変形はないか。
- ・チェーン及びワイヤーに曲がり、ねじれ、変形はないか。

#### 点検レベルB ユーザーによる曲がり等寸法点検

- ・定期点検時は部材群より1%以上の材料を抽出し、点検する。

#### 点検レベルC 製造者による点検

- ・異常が認められ、使用許容範囲が不明なものに関しては製造者に各種点検を依頼するか、速やかに使用可能なものと分別し、廃棄処分を行う。

#### 点検レベルD 抽出による荷重試験

- ・同じ部材グループより1%以上の材料を抽出し、荷重載荷試験を行う。

### 点検レベルE 屋外使用の特殊性に対応する点検

・荷重載荷方法を検討し、設計荷重と同等の負荷への耐力を有することを確認し、荷重値と変位量を計測し、使用荷重に対して安全使用状態であることを確認する。

確認方法を事前に定めておく。

- ・屋外で使用する部材が出庫時に記録・把握出来ているか。
- ・過度の湿気が完全に除去されているか。
- ・湿気による金属部分への異常が無いか。
- ・砂塵等、汚れがクリーニング出来ているか。
- ・水濡れ後の各部への注油はできているか。

### 点検レベルF 耐用年数の確認

- ・耐用年数の定められているものは、製品の耐用年数の期間内で使用しているか。

hグループ 安全設備				
グループ／機材種別		点検レベル		
		出庫前点検時	定期点検時	屋外等過酷な環境で使用した後
h-1	親綱	A/B	-	-
h-2	梯子			
h-3	安全ブロック		A/B/C/F	
h-4	安全帯			
h-5	ヘルメット			
h-6	防護ネット			

#### 点検レベルA ユーザーによる目視点検

- ・ロープ部にほつれ等の異常はないか。
- ・金属部分に曲がり、傷、変形等の異常はないか。
- ・締め付け部に異常はないか。
- ・フック部に曲がり、傷、変形等の異常はないか。

#### 点検レベルB ユーザーによる曲がり等寸法点検

- ・定期点検時は部材群より1%以上の材料を抽出し、点検する。

#### 点検レベルC 製造者による点検

・異常が認められ、使用許容範囲が不明なものに関しては製造者に各種点検を依頼するか、速やかに使用可能なものと分別し、廃棄処分を行う。

#### 点検レベルF 耐用年数の確認

- ・耐用年数の定められているものは、製品の耐用年数の期間内で使用しているか。

#### 4) メーカー提供による点検マニュアル例

ホイスト等に関する点検基準例を示す。

日常点検内容（取扱説明書抜粋）

点検箇所	点検項目	点検基準
表示	銘板	銘板の有無（諸元銘板・注意銘板）
ロードチェーン	ピッチの伸び	異常な伸びが見られないこと。
	摩耗	極端に線径が摩耗していないこと。
	変形	変形のないこと。
	きず、その他有害な欠陥	き裂、その他の有害な欠陥がないこと。
	腐食	著しいさびが発生していないこと。
	潤滑油	潤滑油が不十分なものは、塗布すること。
フック	フックの開き	著しい変形がないこと。
	変形	曲がり、ねじれのないこと。
	きず、その他有害な欠陥	き裂、その他有害な欠陥がないこと。
	スイベル	円滑に360°回転すること。
	外れ止め	著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
	シャンク部の変形	フック金具とシャンク部に著しいすきまがないこと。
	摩耗、腐食	著しい摩耗、腐蝕がないこと。
本体	各部のナット、ボルト	外部から見える個所のナット、ボルトなどの脱落の有無と緩みのないこと。
操作用スイッチ類、 操作・電源コード	外観	変形、破損、ねじの緩みなどが ないこと。 表示が明確であること。
	スイッチ操作	正しくスイッチが作動すること。 インタロックが正しく作動すること。
電源接続	逆相	逆相でないこと。
機能・性能	巻上げ巻下げ機能	巻上げおよび巻下げでロードチェーンが円滑に巻き取られること。 巻下げで、ブレーキに異常がないこと。
	ブレーキ	ブレーキが確実に作動すること。
	リミットスイッチ	リミットスイッチが確実に作動すること。



定期点検内容（取扱説明書抜粋）

点検箇所	点検項目	点検方法	点検基準
表示	銘板	目視	銘板の有無（諸元銘板・注意銘板）
ロードチェーン	ピッチの伸び	測定	ピッチの寸法を測定し、限度を超えたものは、使用しないこと
	摩耗	測定	リンク直径を測定し、限度を超えたものは、使用しないこと。
	変形	目視	変形のないこと。
	きず、その他有害な欠陥	目視	き裂、その他の有害な欠陥がないこと。
	腐食	目視	著しいさびが発生していないこと。
	潤滑油	目視	潤滑油が不十分なものは、塗布すること。
フック	フックの開き	測定	口の開きが使用限度を超えたものは使用しないこと。
	変形	目視	曲がりおよびねじれがないこと。
	外れ止め	目視	著しい摩耗、変形がなく、正しく作動すること。
	シャンク部の変形	測定	フック金具とシャンク部に著しいすきまがないこと。
	スイベル	目視	円滑に360°回転すること。
	摩耗、腐食	目視	異常摩耗が認められるものは使用しないこと。その他、著しい摩耗および腐食がないこと。
	きず、その他有害な欠陥	目視	き裂、その他有害な欠陥がないこと。
本体	フレーム・ケース	目視	変形、亀裂および著しい腐食がないこと。反負荷側チェーンのすべり個所に摩耗がないこと。
	チェーン袋	目視	取付金具への取り付けが確実であること。取付フックに異常がないこと。チェーン袋に破れ、摩耗がないこと。
	各部のボルト・ナット	目視	外部から見える個所のナット、ボルトなどの脱落の有無と緩みのないこと
ブレーキ	ブレーキの効き具合	目視	下降停止時間に異常がないこと。始動時間に異常がないこと。
電気関係	本体制御盤	目視	動作・絶縁は良好であること。過熱・異音がないこと。電源・操作コードに異常がないこと。
	外付け制御盤（客先手配品）	目視	過熱されておらず、絶縁は良好で操作が円滑であること。配線は確実であること。接点に異常がないこと。
	電源	測定	電源電圧が、仕様を満たしていること。完全に接地していること。
機能・性能	巻上げ巻下げ機能	無負荷で巻上げ、巻下げを行う（定格電圧、定格周波数による）	巻上げ及び巻下げでロードチェーンが円滑に巻き取られること。巻下げで、ブレーキに異常がないこと。
	始動	目視	円滑に巻上げ、巻下げをすること。
	ブレーキ	目視	巻上げおよび巻下げはブレーキが確実に作動すること。
	リミットスイッチ	目視	リミットスイッチが確実に作動すること。
負荷	負荷	定格荷重で巻上げ、巻下げを行う	定格荷重、定格電圧、定格周波数で操作し、各部に異常がないこと。
	その他	目視または測定	その他使用上有害な欠陥がないこと。

### LODESTAR 検査記録

型式: \_\_\_\_\_ 機体番号: \_\_\_\_\_ 荷重(能力の125%): \_\_\_\_\_

確認事項	確認方法	結果	判定	備考
絶縁抵抗	絶縁抵抗計	MΩ	合・否	
チェーンの取付け状態(溶接部)	目視	良好・不良	合・否	
可逆コンタクトの作動状況	目視	良好・不良	合・否	
ブレーキギャップ	シックスネスゲージ	mm	合・否	
電磁ブレーキの異音・発熱・発煙	目視・耳聞・手触	良好・不良	合・否	
電磁ブレーキの作動状況	目視	良好・不良	合・否	
停止時すべり量の異常	目視	良好・不良	合・否	
モータの異音・発熱・発煙	目視・耳聞・手触	良好・不良	合・否	
上昇・下降時の異常	目視	良好・不良	合・否	
上限リミットスイッチの設定値	メジャー	cm	合・否	
上限リミットスイッチの作動状況	目視	良好・不良	合・否	
下限リミットスイッチの設定値	メジャー	cm	合・否	
下限リミットスイッチの作動状況	目視	良好・不良	合・否	
ロードスタープロテクターのすべり	目視	あり・なし	合・否	
上昇時電流値	クランプメータ	U相 A V相 A W相 A 平均 A	合・否	
下降時電流値	クランプメータ	U相 A V相 A W相 A 平均 A	合・否	
上昇時速度	鋼尺、ストップウォッチ	$\frac{1}{\text{秒}} = \text{m/min}$	合・否	
下降時速度	鋼尺、ストップウォッチ	$\frac{1}{\text{秒}} = \text{m/min}$	合・否	

メンテナンス完了後は、バックフレームカバー内部の任意位置およびモータハウジングカバー外側長円部に点検済みシールを貼ること。  
点検済みシールには、メンテナンス実施日のみを記入すること。

電源: \_\_\_\_\_ 相, \_\_\_\_\_ V, \_\_\_\_\_ Hz

検査担当者 \_\_\_\_\_  
検査日 \_\_\_\_\_

JASST安全基準シリーズ

仮設ステージ安全基準 ー維持管理編ー

監修 NPO法人 日本舞台技術安全協会  
理事長 清水卓治

編集・発行 NPO法人 日本舞台技術安全協会

HP : <http://www.jasst.org/>

E-mail : [info@jasst.org](mailto:info@jasst.org)

本部事務局 : 〒161-0033  
東京都新宿区下落合1-4-1  
TEL 03-3360-0490  
FAX 03-3360-7826

関西事務局 : 〒530-0003  
大阪府大阪市北区堂島2-1-7  
日販堂島ビル6F  
TEL 06-6344-6000  
FAX 06-6344-6030

NPO法人 日本舞台技術安全協会  
安全技術基準編集ワーキンググループ

株式会社シミズオクト ○ 吉植一史  
小松寛志  
日本ステージ株式会社 遠藤聡  
寺島亮輔

○印・・・WG長

印刷 豊栄堂印刷株式会社

★無断での転載、複製を禁じます。